

「2055(2052+3)」

30年後の未来予測

2019.5.18 未来塾自主ゼミ@熱海
船渡 俊行

「2052」要旨(カバーより)

- 世界の総人口は2040年ごろ81億人でピークとなり、その後減少する。世界全体のGDPは2050年に現在の2.2倍になる。
- 世界全体の消費の成長率は鈍る。資源枯渇、環境汚染、気候変動、生態系の損失、不平等といった問題を予防・解決・修復するために、GDPの大部分を投資にまわさなければならない。
- 資源と機構の問題は2052年までには壊滅的レベルには達しない。しかし21世紀半ば以降、気候変動は歯止めが利かなくなり、人類は大いに苦しむことになる
- 世界のほとんどの地域で1人当たりの消費の成長が鈍る。社会の緊張は高まり、紛争が増え、そのせいで生産性向上のスピードが鈍る。
- 資本主義と民主主義は短期志向になりがちである。長期的な幸せを築くための合意がなかなか得られず、後手に回る。
- 世界中でますます都市化が進み、自然保護が疎かにされる。生物多様性は損なわれる。

「2030年ジャックアタリの未来予測」要旨

- 憤懣が世界を覆い尽くす

善をなす手段は増加、しかし悪の勢力も増加

- 99%が激怒する

2030年までに、経済成長と社会調和の源泉が変化し、大混乱へと向かう
悪化する公害、気候変動による影響、水資源の枯渇、移民の増加、富の集中

激怒の社会構造

不均衡の増幅、怒りを表す手段が増える(軍拡、非合法集団)

世界中で怒りが爆発

経済と金融の世界的危機を引き起こす6つの火種

中国、保護主義の激化、EUの危機、国の巨額債務バブルの崩壊(日本)、
米国の金融危機、原油価格高騰による危機

- 明るい未来

- 自分自身に働きかける

- 世界のために行動を起こす

「2030年ジャックアタリの未来予測」要旨

「明るい未来」

- 自分自身に働きかける
 1. 自分の死は不可避だと自覚せよ
 2. 自己を尊重しろ、自分自身のことを真剣に考えろ
 3. 変わらない自分を見つけろ
 4. 他者が行おうとすること、そして世界の行方について、絶えず熟考しながら自分自身の意見をまとめろ
 5. 自分の幸福は他者の幸福に依存していることを自覚せよ
 6. 複数の人生を同時かつ継続的に送る準備をせよ
 7. 危機、脅威、落胆、批判、失敗に対する抵抗力をつけろ
 8. 不可能なことはないと思え
 9. 実行に移す
 10. 最後に、世界のためにも行動する準備をせよ
- 世界のために行動を起こす

「アタリの文明論講義 未来は予測できるか」要旨

「未来を知る、予言する、予測する、の違い」

- 未来を知る
 - 未来はあらかじめ決まっており、その細部を発見できること
- 未来を予言する
 - 未来は不変であるが、その断片しか知ることができない
- 未来を予測する
 - 未来は決まっておらず、自身の行動によって、予想とは異なる未来を歩むことが可能



「アタリの文明論講義 未来は予測できるか」要旨

「コンピューターによる未来予想」

- 因果関係でなく、相関関係を見つけるだけのテクニックを多用して未来を予測
 - 相関関係は非常に強いため、未来も継続すると思ってしまう
 - 金融、気候、サイクロン、交通、消費動向、犯罪
- 保険会社が個人の行動を規定する未来(超管理社会)
 - センシング技術とリンクした生命や医療保険

「アタリの文明論講義 未来は予測できるか」要旨

「アタリの未来予測手法」

- 予測対象の設定
 - 自分自身、他者、企業、国、人類
- 予測範囲の設定
 - 明日、1週間後、1か月後、1年後、10年後、10世紀後
- 予測対象の未来分析を5段階に区分して分析する
 - 「回顧予測」根源的なアイデンティティの描写
 - 「生命維持予測」健康状態、生活様式、自己管理法に関する見解のまとめ
 - 「環境予測」予測対象の運命に影響を及ぼすかもしれない関係者の洗い出しとその未来分析、特にイノベーション、危機、病「気、テロ、戦争など
 - 「愛着予測」関係者が予測対象に対し、未来にどのような態度を示すか
 - 「投影予測」予測対象の人生のなかで、分かっている、あるいは起きると思われる未来の出来事の分析、対象が持つ未来の計画があればその姿
- 無色物語と暗黒物語の作成
 - 無色物語：最も可能性があると思われる未来
 - 暗黒物語：全てのリスクが現実になった未来

「アタリの文明論講義 未来は予測できるか」風未来予測

「アタリの未来予測手法」自分自身、30年後

予測対象の未来分析を5段階に区分して分析する

- 「回顧予測」根源的なアイデンティティ
 - 技術者、よりよく知りたい、よりよくしたい、宇宙、生物、芸術、健康
- 「生命維持予測」健康状態、生活様式、自己管理法に関する見解のまとめ
 - そこそこ健康、仕事・趣味・家族・自己啓発、自己管理は運動、ヨガ
- 「環境予測」関係者の洗い出しとその未来分析
 - 家族(親の介護)、会社関係(仕事主体)、未来塾(自己研鑽)、旧来の友人(疎)
- 「愛着予測」関係者が予測対象に対し、未来にどのような態度を示すか
 - 家族は愛着、会社は1/3味方1/3敵1/3中立、未来塾は良い関係、旧来の友人は不変
- 「投影予測」予測対象の人生のなかで、分かっている、あるいは起きると思われる未来の出来事の実分析、対象が持つ未来の計画があればその姿
 - 1年後(55歳)～6年後(60歳)は別の仕事に取り組むチャンス(年齢的に)
 - 16年度(70歳)は仕事を継続、副業開始するかも
 - 26年後(80歳)は仕事量を減らして継続、何かやりたいことを決める
 - 30年後(84歳)は仕事そろそろ引退、やりたいことだけやる

「アタリの文明論講義 未来は予測できるか」風未来予測

「アタリの未来予測手法」未来塾、30年後

予測対象の未来分析を5段階に区分して分析する

- 「回顧予測」根源的なアイデンティティ
 - 技術者個人の成長、交流・切磋琢磨
- 「生命維持予測」健康状態、生活様式、自己管理法に関する見解のまとめ
 - 事務局が健全である限り健康、理事会は交代制、高齢化は確実に進む
- 「環境予測」関係者の洗い出しとその未来分析
 - 事務局、理事長、理事、会員、塾生、元塾生、講師、友人、塾生候補
- 「愛着予測」関係者が予測対象に対し、未来にどのような態度を示すか
 - 事務局、理事長、理事、会員は愛着、塾生は出入り有、塾生候補は??
- 「投影予測」予測対象の人生のなかで、分かっている、あるいは起きると思われる未来の出来事の実分析、対象が持つ未来の計画があればその姿
 - 1年後～5年後はおそらく現状維持
 - 6年後～10年後は60歳以上が増加、シニア未来塾開始か？未来塾本体は代替わり
 - 11年後～20年後は70歳以上が増加、シニア未来塾最盛期？
 - 21年後～30年後は80歳以上が増加、シニア未来塾衰退期？事務局危機

おまけ

日経新聞電子版 ストーリーより (5/12週)

哲学対話の8つのルール (大山高校の場合)

- 1 なにを言ってもいい
- 2 人の言うことに否定的な態度をとらない
- 3 話を聞いているだけでもOK
- 4 質問しあう
- 5 本で知った知識・聞いた話ではなく、自分の経験で話す
- 6 まとめない
- 7 意見が変わってもOK
- 8 分からなくなってもよい



キセキの高校

5月12日 全5回

偏差値40。東京都立の高校の中でも最下層。そんな都立大山高校（板橋区）で、異変が起きている。この3年、上智など有名私大に加え、国公立大への合格者が相次いでいるのだ。生徒を変えたのは、詰め込み式の受験勉強でもなく、最先端のIT授業でもない。...



哲学対話では、コミュニケーションボールを持っている人が話す

おまけ

日経新聞電子版 ストーリーより(5/12週)

■りんごをめぐる問い

そこにはりんごが置かれている。りんごについて調査しよう。はい、これが本日のテーマです。



⊕画像の拡大

あなたはりんごについてどんな問いが浮かびますか？

従来やり方なら「皆さんはりんごが好きですか」と尋ねるだろう。ところが吉田は「りんごをめぐる皆さんにはどんな問いが浮かびますか」ときた。

問いが中心の議論のポイント
 (「りんご」がテーマなら)

「発散」

自由に問いを挙げる。
 「誰にとってのりんご？」
 「何色のりんごのこと？」

「収束」

問いのグループを作る。
 「定義」「条件」

「脱臼」

流れを壊す発言を大事にする。「りんごより、みかんじゃない？」

↓
 新たな洞察が生まれる